



校報 水糸者

No. 831

29年度・第4号

家庭訪問、よろしくお願ひします！

11日から家庭訪問が始まっています。子どもの健全な成長のためには、保護者と担任が手を携えながら教育活動を行う事はとても大切なこととなります。

今回の家庭訪問では、普段の子どもの様子、困っていることや悩んでいること、学校への要望などを含め、何でも担任にお話ください。

【家庭訪問中（午前授業）の過ごし方】

家庭訪問のため、午前授業が続くこの時期の過ごし方については、学級でも十分に指導をしていますが、ご家庭でも特に下に記した事項について繰り返し話題にしてください。

①規則正しい生活を送りましょう。

- ・ゲーム過多にならないようご注意ください。
- ・宿題や一人勉強をしっかりとやりましょう。

②交通事故や水の事故などに遭わないようにしましょう。

- ・特に自転車による事故が心配です。お子さんの行き先や不審者（車）出没時の対処方法などにつきまして、よろしくお願ひいたします。



年度末・始めの種小っ子



「校長先生、さようなら。」元気なあいさつをし、下校する1年生。



3月19日にひろのまきば天文台で行われた、きぼうの桜（宇宙桜）植樹祭に参加した5年生（現6年生）。この様子は岩手日報や町広報でも紹介されました。

「校長先生、おはようございます」と、元気なあいさつをしながら登校する種小っ子。今年は「あいさつ」が重点の1つとなる年です。



元気に退場する1年生。今年の1年生も元気で明るい子たちです。（入学式）



あいさつの花を咲かそう！

～あいさつは、より良く生きていくための基本となるものです！～

朝、校門前に立っていると、子ども達が元気なあいさつをしながら登校してきます。子どもだけでなく、送迎してきた保護者の方や通りすがりの方までがあいさつをしてくれますので、朝からとても良い気持ちで過ごしています。最近、近所の人にも家族にもあいさつをしない人が増えてきているとも言われています。

自動販売機やコンビニ、ネットやメール等の普及増加や氾濫による「ことば」を発しなくても生活できる社会となっており絆が薄れていき、コミュニケーション不要社会や無縁社会の拡大も懸念されています。そのような傾向も懸念してか、学習指導要領の柱の1つに「言語活動の充実とコミュニケーション能力」があげられ、全国どの学校でも学校生活全般に位置付けられています。

あいさつは、より良いコミュニケーション構築のために大切なものであり、社会で暮らしていくための最も大切なものです。

今年度、本校ではまなびフェストを大幅に見直し、全校で取り組んでいく事の1つに「あいさつ」を掲げます。(まなびフェストについては、後日の校報やPTA総会などでお知らせします)

『あいさつ名人』となる5条件(①大きな声で ②人より先に ③誰にでも ④何回でも ⑤相手を見て)がしっかりとできるまで、繰り返し指導を続けてまいります。

209人の種小っ子全員が『あいさつ名人』となるよう、学校、家庭、地域のみんで大人が手本となりながら、育んでいきましょう。



「勉強が良くできる子とあいさつが良くできる子のどちらを採用しますか？」と、聞いたら躊躇なく「あいさつ」と即答した社長さんもいました。

著名な方々も「あいさつ」の重要性を語っています

- ①大庭 文武さん(元青森県立八戸高等学校長)の講演から(平成21年度久慈市教育研究発表会)
「当たり前前を当たり前前にできる「生徒指導」があつての進学指導である。あいさつは社会人としての第一歩である。」
- ②日置 光久さん(元文部科学省初等中等教育局視学官;現東京大学大学院・特任教授)の講話より
〔平成21年度全国公立学校教頭会研究大会(7月28日;千葉市)〕
ア. 人と人が関わっていく事が教育の基本。
イ. マザーテレサは『愛情』の反対は『無関心』であると語っている。
ウ. 「人間関係力」は西欧では重視されている。新しい時代の「学力」といってもいいだろう。
エ. 「きずな力」の延長線上に家庭や地域等との連携がある。
- ③井上 節夫さん(元盛岡第三高等学校長)の講演から(20年度岩手県総合教育センター研究発表会)
「学力の高い中・高校では、コミュニケーションを重視した教育と書くこと(ノート指導)を重視している。」
- ④小檜山 博さん(作家)の講演から(平成20年度岩手県PTA研究大会;県立大学にて)
「はい」、「ありがとう」、「ごめんなさい」が言えれば人生が送れる。
- ⑤小坂 敏雄さん(元盛岡中央ゼミナール 校長)の講話より〔平成23年8月27日(八戸市)〕
「難関大学や著名な大学に進学させる事はある程度できる事だが、勉強だけしている生徒は中途退学が増加している。「やろうじゃないか」と呼びかけ、目的に向かって周囲の人を動かしていく「働きかけ力(能力)」を備えた子どもでないといけない。」